

経営比較分析表

岐阜県 川辺町

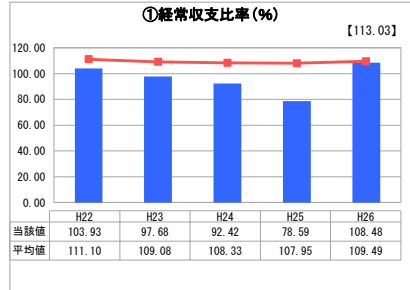
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A7
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	90.27	97.06	3,947

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,567	41.16	256.73
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,227	8.19	1,248.72

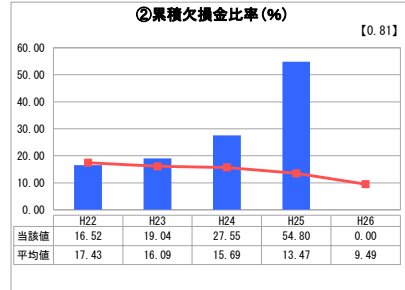
グラフ凡例

- 当該団体の値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

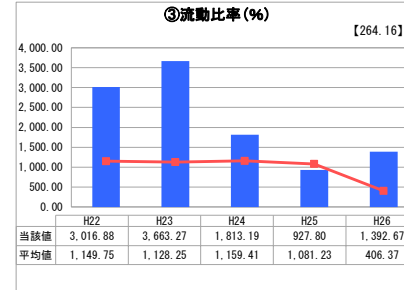
1. 経営の健全性・効率性



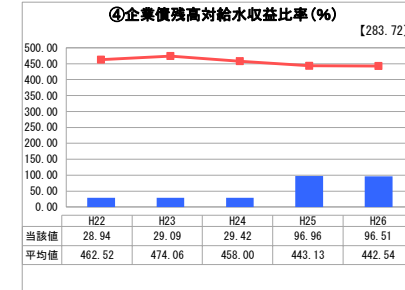
「経常損益」



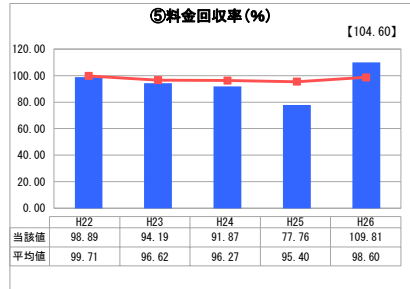
「累積欠損」



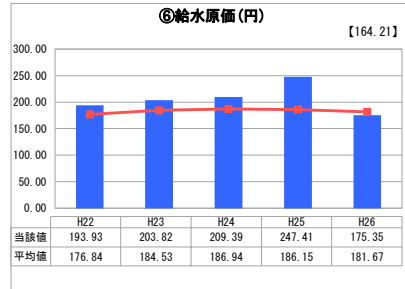
「支払能力」



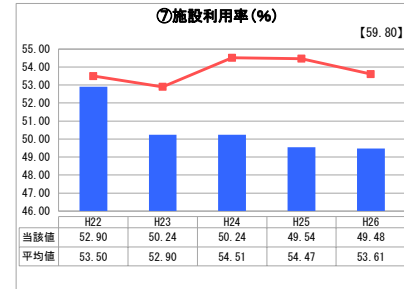
「債務残高」



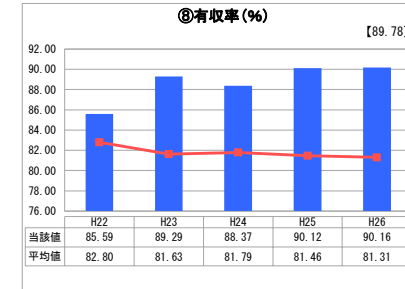
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

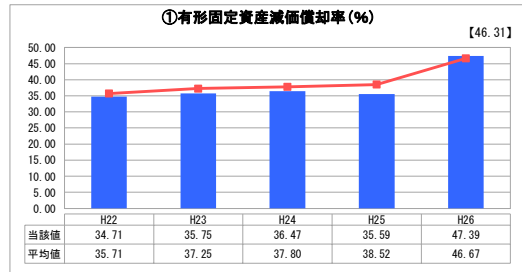


「施設の効率性」

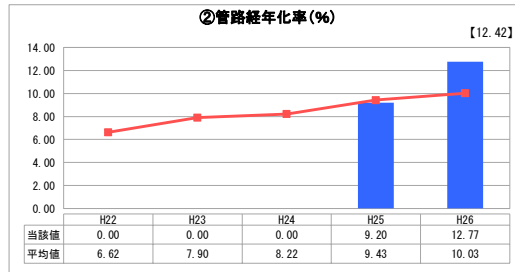


「供給した配水量の効率性」

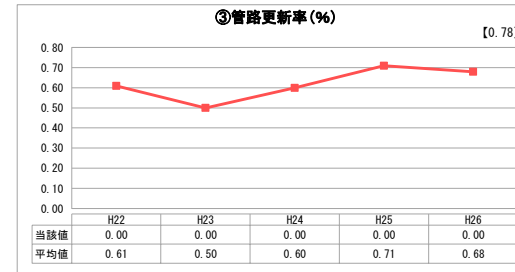
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 平成23～25年度までは赤字が続いていたが平成26年度に黒字となり健全な状況になったといえる。今後も更なる経費削減に取り組む必要がある。
- 平成26年度からの新会計基準によるみなし償却制度廃止により固定資産を見なしたところ累積欠損金が解消されたが維持管理費が増加傾向にある。
- 前年度より増加し、類似団体と比較しても高い数値となっている。
- 類似団体と比較して低い数値で推移しているが今後の管路更新事業により企業債の残高が増加する見込みである。
- 平成26年度に100%を超え類似団体より高い数値となったが、今後も回収率の向上に努める。
- 平成26年度に類似団体より低い数値となったが、今後も更なる経費削減に取り組む必要がある。
- 類似団体より低い値となっているが、水道事業認可時における配水能力と比較しているため当時の計画よりも減少しているがやむを得ない。
- 有収率は安定しており類似団体と比較しても高い数値となっている。

平成26年度からは黒字となり、累積欠損金も解消されていることから類似団体と比較して、概ね健全な経営であるといえる。

2. 老朽化の状況について

- 類似団体と比較しても同じように推移している。
- 類似団体と比べて高い値となっている。今後も上昇する見込みである。
- 管路更新率は0%で、管路経年化率も上昇傾向にあるため管路の更新が必要である。今後も計画的な管路やポンプ施設の更新が必要である。

全体総括

平成26年度からの経営状況は良好と判断できるが、平成27年度から長期間に渡り重要給水施設への配水管布設工事が計画されているため、起債の償還や維持管理費の増加が見込まれ厳しい財政状況になると予想されます。今後も有収率の向上や経費削減に向けた取組を行う必要があります。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。